

第 1573 回 天文学教室談話会

2015 年 11 月 24 日 (火) 16:30 より

東京大学理学部 1 号館西棟 11 階 1109 号室 (天文学専攻会議室) にて

“超新星重力レンズの発見”

大栗真宗 (物理学専攻/ビッグバン宇宙国際研究センター/Kavli IPMU)

重力レンズ現象により超新星が複数に分裂されて観測される現象は 1964 年に予言されていましたがその稀少さゆえにこれまで発見されてきませんでした。しかしながら最近になって超新星重力レンズの発見が相次いで報告され、超新星重力レンズ天文学がいよいよ幕を開けました。本講演では、私の理論研究を交えつつまず超新星重力レンズの面白い点や応用例を議論し、その後発見が報告された二つの超新星重力レンズ PS1-10afx と SN Refsdal の観測と解析の現状を報告します。